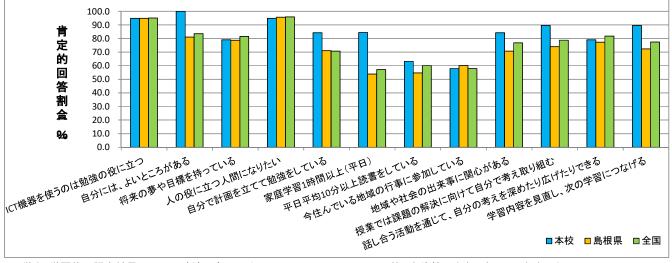
## (1)学力調査結果から見られた傾向

	CONTROL DESCRIPTION DESCRIPTION OF THE PROPERTY OF THE PROPERT			
	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)		
	<ul><li>○設問に回答するために、必要な条件を取捨選択することができている。</li><li>○漢字を書く力は全国平均並みにできている。</li><li>●文章の特徴や、情報の関係を読み取る力に弱みがある。(知識・技能)</li><li>●条件に合わせて文章を書く力が弱い。</li></ul>	・情報の活用に必要な言葉の意味をきちんと理解させたり、思考操作を可視化する活動を重視したりして、情報を扱う力を向上させる。 ・引き続き、書くことの指導(作文メモの指導、構成を考えて書く指導)に力を入れる。		
算数	<ul><li>○単純な計算をする力は高い。</li><li>○グラフを読み取り、説明することができる。</li><li>●図形の性質を理解し言葉や数を用いて説明する力が弱い。</li><li>●式を場面と関連付けて読み取る力が弱い。</li><li>●文章を読んでその状況を理解する力が弱い。</li></ul>	・既習事項の復習を繰り返し、定着を図る。 ・式の意味を考えて説明したり、図や式に表して説明することを大切にする。		

### (2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(•)
	<ul><li>○自己肯定感が高い。</li><li>○人の役に立ちたいと思っている。</li><li>○学習は大切だと思っている。</li><li>●読書量が少ない</li><li>●友人関係の満足度が低い。</li></ul>	・読書環境を充実させる。 ・児童会や学級活動で異学年との関わりを多く持つ機会を増やす。

#### (3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



#### (4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



# (5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・ICTの活用に力を入れ、タブレットの日常的・積極的に学習に活用していく。

・メディアとの上手な付き合い方ができるように、情報モラル学習やメディアコントロールの取組を充実させる。

# 【受検者数】

19 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受 検者数をもって表示。